

【韓国】日本所蔵朝鮮王朝儀軌返還要求決議案の提出

海外立法情報課・白井 京

* 2009年12月4日、与党ハンナラ党李貞鉉(イ・ジョンヒョン)議員をはじめとする40名の議員により、標題の決議案が国会に提出された。現在、国会の所管委員会で審議中である。朝鮮王朝儀軌の返還については、2006年12月7日にも同名の決議が採択されている。

「朝鮮王朝儀軌」とは、朝鮮王朝の主要な儀式や行事の準備過程について詳細に記録し図式化した文献であり、1922年に朝鮮総督府が宮内省(現宮内庁)に移管したとされている。前回2006年12月に採択された決議は今回の決議案と同名であり、内容も類似しているが、儀軌を朝鮮民族のアイデンティティと文化を理解するのに必須の文化遺産であるとして日本政府に返還を求めるものであった。今回の決議案では、韓国併合100年を迎える点を強調している。内容は以下のとおりである(以下翻訳)。

主文

朝鮮王朝儀軌は、王室の主要な儀式及び行事の準備過程等を詳細に記し、絵で記録した文書である。これは、儀礼が繰り返される王室における儀礼の見本を作成し、後代に伝えようと、都監において直接体系的に整理した記録文書で、現在、ユネスコ世界記録遺産にも登録された我が民族が誇りとする文化遺産である。

朝鮮は、壬辰倭乱以後、太白山、五台山、赤裳山、江華島に書庫を設置し、実録及び儀軌等の主要文書を保管してきた。日本は、朝鮮を強制占領し、その後、1922年に朝鮮総督府寄贈の形式により日本宮内庁書陵部に儀軌を搬出、現在まで日本宮内庁書陵部に72種の朝鮮王朝儀軌が保管されている。

- 1 大韓民国国会は、最近、東京大学が「朝鮮王朝実録五台山史庫本」を大韓民国に返還した歴史文化に対する意識を高く評価し、韓日両国の持続的な友好関係の発展のために「文化財の原産国(又は出処国)返還」というユネスコ精神が責任感をもって実現されることを期待する。
- 2 大韓民国国会は、庚戌国辱100年を迎える時点において、日本政府が韓日両国の過去の歴史に対する意味のある反省を表明すると同時に、韓日両国の未来志向的な関係のために日本宮内庁書陵部に所蔵されている「朝鮮王朝儀軌」を「大韓民国」に即刻返還することを促し求める。
- 3 大韓民国国会は、大韓民国政府に対し、日本宮内庁に所蔵されている「朝鮮王朝儀軌」の歴史的文化的価値に注目し、この返還について日本政府と積極的な交渉に乗り出すことを促し求める。

参考文献(インターネット情報は2010年1月25日現在である。)

・日本所蔵朝鮮王朝儀軌返還要求決議案<http://likms.assembly.go.kr/bill/jsp/BillDetail.jsp?bill_id=PRC_G0Y9E1L2S0F4W1R8L2U8F4T9P8O4Q9>